

待

まつ タイ

待 待

音おんを表あらわすのは寺じ。寺じはいつまでも持もち続つづける意い味みがあり、待たいは時ときが過すぎてもいつまでも「まつ、まちうける」の意い味みとなる。また「そなえる、もてなす」の意い味みにも使つかう。